



5月
31

県内初、災害時に畳を提供 災害時における畳の供給等に関する協定締結式



災害時における畳の供給等に関する協定締結式



1 協定を締結した実行委員会近畿地区委員長武内秀介さん、森町長（左から）2 協定書に調印 3 町内でプロジェクトに参加している織田たたみ店の織田さんご夫婦

5月31日、町役場で田原本町と「5日で5000枚の約束。」プロジェクト実行委員会が、災害時における畳の供給等に関する協定を締結しました。同実行委員会と県内の自治体が協定を結ぶのは初めてのことです。

同プロジェクトは、多くの被災者が体育館など冷たい床での避難を強いられた東日本大震災がきっかけとなり、始められました。

協定に基づき、町内に地震、風水害などによる大規模災害が発生した場合に、無償で避難所まで畳を提供してもらえます。

締結式に臨んだ町長は「避難所の生活環境の向上が期待できる」と話しました。

5月
14

ごみ拾いを通じて地域に貢献 田原本・北中学校生徒が清掃活動



▲協力してごみを拾い集める生徒たち

5月14日、大和磯城ライオンズクラブ主催の清掃活動が行われ、田原本・北中学校の生徒と関係者合わせて約500人が参加しました。この活動は、地域のために奉仕したいとの思いで毎年行われています。

両校の生徒は、それぞれ町役場と北中学校を起点に寺川沿いの空き缶や流木などのごみを拾い集めました。約1時間かけて清掃し、町の美化のために貢献しました。

5月
24

熊本地震の被災地支援のため

町地域婦人団体連絡協議会が義援金を寄付



▲北浦会長から森町長に義援金が手渡される

5月24日、町地域婦人団体連絡協議会から森町長に熊本地震義援金を寄付されました。

これは、本協議会が手作りのお餅を販売した収益を、熊本地震義援金として寄付し、被災地支援のために役立ててもらいたいとのことでした。

義援金は、日本赤十字社奈良県支部に寄託し被災地へ届けられます。

また、7月に町更生保護女性会としても同様の活動をされます。